

平成27年度 事業計画書

生活介護事業所 咲 笑

1. 基本方針

重度の障がいがあっても地域の中で普通に暮らせることのできる街づくりを目指し、様々な社会資源を活用しつつ、重度の障害児者が求めるサービスを提供するとともに、より困難な状況にある方々の福祉に一躍を担うべく主体的に取り組むことを基本理念とする。

サービスを実施提供するうえにおいて、障害児者の多様なニーズに対して柔軟にかつ丁寧に応えることを基本姿勢とし、粘り強くその事業及びサービスの実施を試み、最大限の努力を行うことを本会の基本方針とするものである。

私たちの姿勢について

私たちは、「障害」ということばを生きていく上での困難さと捉えその困難な状況下で精一杯生きる対象者の有する権利と人格に対して、最大の敬意をはらうとともに、私たちが行う支援が効果をあげるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が対象者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意を持って果たしていくことが、私たちの事業に対する姿勢であることを確認する。

2. 施設〈咲 笑〉として大事にしていくこと

① 利用者主体

一人ひとりの想いを尊重した活動を支援します

② 安全、安心の提供

清潔、安全な環境づくりを常に心掛けます

安心感を抱き、笑顔の絶えない日常を支援します

③ 人とのつながりの中で

地域の活動を通し、施設として個人として人とのつながりを深めていくなかで充実した時間を支援します

職員の姿勢として大事にしていくこと

① 1日は挨拶ではじまり、挨拶で終わります。笑顔を決やすことなく気持のよい挨拶を心掛けます。

② サービスを担う者として相応しい『言葉遣い』や『態度』を意識します。

- ③何事にも精一杯・丁寧に取り組み真摯な態度で向き合います
- ④常に成長できる職員集団をめざします

3. 平成27年度の取り組み

平成27年6月、生活介護事業所『咲笑』は開所しました。現在、5名の利用者が活動を行っています。

<咲笑活動報告>

①生産活動

クッキーの生産及び販売を行った。個人にあった提示方法で、作成工程をわかりやすくするなど視覚的明瞭化の中、作業を行った。作業工程などの提示方法は、昨年度の反省をいかし、改良をかさね、より利用者にとってわかりやすいものを追求した。しかし突発的な行動に対する準備ができておらず、課題が残る結果となった。又、販売促進分野では、あらたにラッピングを変えるなど商品化に向けて一歩が踏み出せた。アクセサリーの販売に関しては、新しいオリジナルパーツなどの作成には昨年同様着手できなかったが、ワークショップの開催は成功をおさめ、作品の周知につながった。

②創作活動

細かくちぎった和紙を色別に分類する工程と、描いた絵に和紙を丁寧に貼る工程までを行った。

紙芝居の完成を目指したが、完成には至らず、次年度へ持ち越すこととなった。ワークシステムや視覚的明瞭化・構造化を図りながら行ったが、課題の抽出、そして変更の繰り返しが続いた。

しかし、昔からよく知る物語を選んだことで、楽しみ・興味、そして完成への期待につなげることができた。

③趣味活動

調理活動においては、昨年同様、個別化したシステムをそれぞれ用いながら行った。咲笑では全員が同じ場所にそろって行う唯一のプログラムであり、同じ場所や時間を共有するというを目的として行った。今年度は、これらの時間が定着し、利用者通しが一緒に過ごす時間が増えた。

また、長居スポーツセンターにて、卓球やボウリングを利用者それぞれの希望に応じ行った。

④日常生活上の業務への取り組み

スケジュールの中に掃除・整理等を組み入れ、ソーシャルなスキルの獲得を目指した。

また、手順書に沿い必要なものを購入するという買い物をプログラムの中に取り入れた。

4. 施設運営管理
利用定員 生活介護事業所（みどり教室の従たる事業所） 6名
5. 防災及び研修関係
みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施
6. 健康衛生管理
みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施
7. 工賃
みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施
8. 行事
みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施
9. その他
 - *ひやりはっと及び事故報告
みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施
 - *給食
みどり教室（主たる事業所）と一体的な運営として実施